

# お元気ですか

# 南 恵子

です

発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

**南 恵子**

TEL 3790-1523



## 八潮上空を飛ぶ

## 第2回定例会

# 羽田増便計画の中止を求める質問します

6月25日より第2回定例区議会が始まります。4月の区議選で掲げた公約実現を求めて質問をします。初日の25日に安藤たい作議員が羽田増便問題を取り上げます。

この問題は八潮をはじめ区内各地に大きな不安をもたらしているだけに、行革委員会でもすべての党が発言する程関心が高まっています。

### 不安は騒音だけではない 墜落が最も心配

最近、頻発している飛行機墜落事故。ひとたび墜落すれば被害は深刻なだけに、日常的に不安を抱えて暮らすのは嫌です。

以前、八潮上空を轟音たてて飛行機が通っていた時、近づいてくる機体をみて頭上に落ちてくるのではないかと不安を感じていたことを思い出します。これは、多くの方たちと共通しています。だから、「嫌だ」という声になるのです。

### 墜落の危険から守るため 上空飛行は反対と国に求めよ——本会議質問

6月25日の本会議一般質問で、安藤たい作議員が、様々な方たちの不安声を取り上げました。（答弁は後日）

騒音による問題です。品川上空の飛行によって大井町にきました。

空は80dB、羽田に近づくほどその値は大きくなります。聴覚障害者は「音を頼りに歩行するので、騒音で方向感覚を失う」という深刻さを紹介。また、超高層マンションに住む方は「自分たちのすぐ真上を飛ぶので恐ろしい」といいます。八潮でも、飛行機の轟音の恐怖、大きなタイヤが機体から出てくるところまで見える恐ろしさなどです。

墜落の危険性について。オリンピック・パラリンピックを梃に訪日外国人の増加、アジア経済圏で日本の地位を高めるなどを目的にして飛行回数を増やす計画をすすめています。本来なら、墜落を避けるために市街地上空は飛ばさないという不文律があります。国と区は、その立場に立つ動を優先させようというのです。国と区は、命を守ることより経済活動を優先させようというの



**毎月第2水曜日に何でも相談会を開催しています。**

**連絡先**  
南恵子区議會議員  
電話(3790)1523

**行革委員会で出た意見も心配する声ばかり**

6月10日に開かれた行革委員会を傍聴すると、そこでも羽田問題に関する質問がたくさんありました。

各委員からは、①八潮でも説明会開催を、②区が実施する騒音測定は今後の対応に必要な要、③区民の不安解消などをしました。

また、昨年12月に区議会として国に意見書を提出しましたので、それを踏まえて取り組むよう要望する意見もあります。

**東京国際空港における騒音対策を求める意見書**

東京国際空港の機能強化については、学者・専門家で構成する国土交通省交通政策審議会の首都圏空港機能強化技術検討委員会にて、平成26年7月に技術的な選択肢を取りまとめた。これをもとに8月26日には、国及び関係自治体や航空会社等の関係者で「首都圏空港の機能強化の具体化にむけた協議会」が開催され、羽田空港の新しい滑走路運用・飛行経路案が示された。

発着枠の拡大に向けて、15時から19時にかけて南風運用時のA・C滑走路着陸に際しては、都心部上空を通過しながら滑走路に進入する案が示された。この案によると品川区内上空の飛行高度は、五反田駅周辺や品川駅周辺上空であり、大きな騒音影響が見込まれ、品川区議会としても懸念を抱いている。

よって、品川区議会は政府に対し、下記の事項を強く要望する。

**記**

- 1、都心上空を通過する15時から19時にかけて南風運用時のA・C滑走路への着陸に際し、品川区内各地域に騒音影響と不安を与えることが想定される。このことから影響調査を細かく実施されたうえで、より地域住民の危険を丁寧に聞き、不安の払しょくに努めると同時に対策を講じること。
  - 2、可能な限り市街地に影響を及ぼさない方策を検討すること。
  - 3、国土交通省は品川区と連携を密にとること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月25日

品川区議會議長 石田秀雄

国土交通大臣 太田明宏様

**「羽田増便中止を求める請願」が行革委員会で質疑されます。傍聴して見守りましょう。**

**行革委員会は7月1日(水)午前10時から  
区議会6階 第一委員会室です**

**※傍聴席はたっぷりありますので 大勢来ても大丈夫です**